



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回定例会	2~3
平成31年度予算審査特別委員会	4~5
第2回臨時会	6
委員会構成	7
令和元年第3回臨時会・第2回定例会・	
第4回臨時会	8~9
一般質問	10~13
議会基本条例	14~15
北海道町村議会議員研修会(札幌市)	
議会の動き・編集を終えて	16

令和元年

第160号

8月13日



第58回知床開き 炉端コーナー

平成31年 第1回定例議会

去る3月11日、平成31年第1回定例議会が開催された。一般質問、一般会計の補正予算、特別会計の補正予算、平成31年度一般会計予算・特別会計予算、条例制定など、すべて原案通り可決した。……………※数字は万円未満四捨五入

専決
処分

平成30年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **5,000万円** 総額 **47億9,992万円**

土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	5,000万円
-----	------------------	---------

補正
予算

平成30年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **504万円** 総額 **48億497万円**

総務費	町有バスに要する経費	34万円
	道知事及び道議会議員選挙に要する経費	41万円
民生費	福祉・介護職人材確保に要する経費	△70万円
	地域支え合い推進員事業に要する経費	△399万円
	障がい者自立支援事業に要する経費	907万円
	特別会計繰出金に要する経費	△87万円
	子育て支援に要する経費	7万円
	児童手当等支給に要する経費	△155万円
衛生費	特別会計繰出金に要する経費	1,053万円
	乳幼児等医療費助成事業に要する経費	54万円
	一般廃棄物最終処分施設整備に要する経費	△362万円
農林水産業費	海難防止に要する経費	△50万円
	水産振興等に要する経費	△55万円
教育費	小学校の管理に要する経費	166万円
	小学校教育振興に要する経費	8万円
	中学校の管理に要する経費	33万円
	中学校教育振興に要する経費	11万円
	幼稚園の管理に要する経費	36万円
	文化財保護調査に要する経費	△129万円
	温水プール管理運営に要する経費	△321万円
	給食センター管理運営に要する経費	75万円
	職員費	給与費

平成30年度目梨郡羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **1,399万円** 総額 **11億4,289万円**

総務費	共同電算化に要する経費	10万円
	療養給付費等負担金償還金	2,676万円
	特定検診審査等負担金償還金	60万円
	返還金	25万円
	繰出金	△1,373万円

平成30年度目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **600万円** 総額 **4億8,195万円**

保険給付費	介護サービス等給付に要する経費	600万円
-------	-----------------	-------

平成30年度目梨郡羅臼町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

減額 **98万円** 総額 **6,783万円**

後期高齢者医療広域連合会納付金	98万円
-----------------	------

平成30年度目梨郡羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

減額 **320万円** 総額 **2億320万円**

総務費	医療再生に要する経費	△320万円
-----	------------	--------

人事案件

根室町村等公平委員会委員の同意
 住所…中標津町東五条
 氏名…大形 幸男
 任期…平成三十一年四月一日から令和四年三月三十一日まで

公の施設に係る指定管理者の指定について

名称…羅臼町民体育館
 氏名…NPO法人羅臼スポーツクラブらいうず
 期間…平成三十一年四月一日から令和四年三月三十一日まで

条例制定

羅臼町議会基本条例を制定する。

町長の行政報告から

・知床らうす国民健康保険診療所医師
 本年四月十五日より新しい所長として木島 真先生が着任しました。木島先生の専門は外科であります。総合診療医として多くの病院で勤務されており、当町の地域医療の実情を御理解いただき、予防医療にも御協力いただける事と思います。

・除雪費の補正について
 本年一月二十八日時点におきまして、除雪費の予算執行見込み額が四、七六万円となり、今後の除雪費に不足が生じる事となりましたので、同日五、〇〇〇万円の追加補正を専決処分させていただきました。

平成31年度

予算審査

特別委員会報告!!

各会計予算が決定

平成31年第1回定例会において、予算審査特別委員会が設置され、本議会休会中の3月7、9日の2日間にわたって慎重かつ熱心に審査が行われ、委員全員一致により原案どおり可決・決定された事が宮腰 實委員長より報告された。

▶ 一般会計歳入 **43億2,729万6千円** (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 町税	603,872	617,070	△13,198
2. 地方譲与税	16,500	17,700	△1,200
3. 利子割交付金	1,000	1,000	0
4. 配当割交付金	2,000	2,000	0
5. 株式等譲渡所得割交付金	1,000	1,000	0
6. 地方消費税交付金	108,000	108,000	0
7. 自動車取得税交付金	3,000	2,700	300
8. 地方特例交付金	670	670	0
9. 地方交付税	1,994,202	2,030,000	△35,798
10. 交通安全対策特別交付金	1	1	0
11. 分担金及び負担金	45,258	49,522	△4,264
12. 使用料及び手数料	113,120	118,470	△5,350
13. 国庫支出金	241,610	264,797	△23,187
14. 道支出金	188,871	152,956	35,915
15. 財産収入	14,903	15,913	△1,010
16. 寄附金	500,001	500,001	0
17. 繰入金	271,909	310,900	△38,991
18. 繰越金	1	1	0
19. 諸収入	32,295	82,828	△50,533
20. 町債	189,083	498,400	△309,317
歳入合計	4,327,296	4,773,929	△446,633

▶ 一般会計歳出 **43億 2,729万 6千円** (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 議会費	38,686	36,220	2,466
2. 総務費	1,281,458	1,356,157	△74,699
3. 民生費	484,918	475,284	9,634
4. 衛生費	716,138	635,692	80,446
5. 農林水産業費	58,057	70,267	△12,210
6. 商工費	85,317	82,310	3,007
7. 土木費	127,799	117,498	10,301
8. 教育費	327,260	812,831	△485,571
9. 公債費	389,928	378,636	11,292
10. 職員費	797,735	789,034	8,701
11. 予備費	20,000	20,000	0
歳 出 合 計	4,327,296	4,773,929	△446,633

▶ 特別会計〈歳入・歳出〉 (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
国民健康保険事業	1,046,074	1,107,043	△60,969
介護保険事業	468,100	449,019	19,081
後期高齢者医療事業	69,697	68,919	778
国民健康保険診療所事業	192,764	206,391	13,627

▶ 水道事業会計〈収入・支出〉 (単位：千円)

		本年度収入予定額	本年度支出予定額	資金期末残高
水道事業会計	収益の収入・支出	204,812	204,812	25,065
	資本の収入・支出	53,922	123,760	



令和元年 第2回臨時会

5月8日臨時会が開かれ、一般会計の補正予算、議長・副議長・各常任委員会の選任が審査され、すべて原案通り可決された。……………※数字は万円未満四捨五入

専決
処分

平成30年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **8,512万円** 総額 **48億9,008万円**

総務費	その他一般行政に要する経費	
	財政調整基金積立金	3,000万円
	文教施設整備基金積立金	3万円
	公共施設整備基金積立金	10,000万円
	町営住宅に要する経費	△1,551万円
衛生費	合併処理浄化槽普及事業に要する経費	△214万円
	し尿処理に要する経費	△244万円
	根室北部廃棄物処理広域連合に要する経費	△91万円
	一般廃棄物処理に要する経費	△70万円
農林水産業費	畜産担い手育成総合整備に要する経費	△253万円
	治山事業に要する経費	△51万円
	町道維持補修及び除雪に要する経費	△1,394万円
	橋りょう長寿命化に要する経費	△123万円
教育費	幼稚園の管理に要する経費	△56万円
	公民館管理運営に要する経費	△77万円
	給食供給に要する経費	△165万円
	給食センター管理運営に要する経費	△124万円
公債費	一時借入金利子	△77万円



委員会構成 決定



副議長
小野 哲也



議長
佐藤 晶



委員
小野 哲也
(当選 5 回)



委員
松原 臣
(当選 7 回)



委員
村山 修一
(当選 7 回)



副委員長
坂本 志郎
(当選 5 回)



委員長
田中 良
(当選 4 回)



委員
佐藤 晶
(当選 7 回)



委員
高島 讓二
(当選 4 回)



委員
井上 章二
(当選 4 回)



副委員長
鹿又 政義
(当選 7 回)



委員長
加藤 勉
(当選 2 回)

総務民生常任委員会

経済文教常任委員会

議会議員
議会議員
議会議員
議会議員
根室北部廃棄物処理広域連合
坂田 小佐藤
本中野 哲也
志 哲 晶
郎 良 也

議会議員
議会議員
議会議員
議会議員
根室北部消防事務組合
鹿加小佐藤
又藤野 哲也
政 勉 也
義 勉 也

議会議員
議会議員
議会議員
議会議員
根室北部衛生組合
坂田小佐藤
本中野 哲也
志 哲 晶
郎 良 也

委員
委員
副委員長
委員長
議会運営常任委員会
加藤 中本
藤 中 志
勉 良 郎

議会運営常任委員会

町政はあなたのために!!
議会を傍聴してみませんか。



* 町議会の定例会は年 4 回 (3・6・9・12月) 開きます。
* 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

監事
監事
副会長
会長
羅日町議会議員会
小野 哲也
鹿又 政義
田中 良郎
坂本 志郎

羅日町議会議員会

令和元年 第3回臨時会

5月13日臨時会が開かれ、一般会計補正予算、条例の一部を改正する条例、監査委員の選任、固定資産評価委員の選任が審査され、すべて原案通り可決された。

※数字は万円未満四捨五入

補正
予算

令和元年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **7,600万円** 総額 **44億3,029万円**

教育費 公民館管理運営に要する経費 7,600万円

条例関係等

- ・羅臼町税条例等の一部を改正する条例
- ・羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・羅臼町介護保険条例の一部を改正する条例

人事案件

- ・羅臼町監査委員の選任につき同意を求める。
- ・鹿又 政義 議員
- ・羅臼町固定資産評価審査委員会の選任につき同意を求める。

横岩 信子氏(再任)
嶋 勝彦氏(再任)
白濱 修治氏(再任)

(任期)
令和元年六月二十二日
令和四年六月二十一日

令和元年 第2回定例会

6月17日定例会が開催され、一般会計補正予算、条例の一部を改正する条例、副町長の選任、意見書などが審査され、すべて原案通りに可決された。

※数字は万円未満四捨五入

補正
予算

令和元年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **9,417万円** 総額 **45億2,446万円**

総務費 其他一般行政に要する経費 45万円
町営住宅に要する経費 △8,366万円

民生費	各種福祉会館管理に要する経費	810万円
	特別会計繰出金に要する経費	22万円
衛生費	生活習慣病・がん検診に要する経費	29万円
	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	26万円
	環境保全対策等に要する経費	413万円
	清掃センター管理運営に要する経費	185万円
商工費	温泉供給に要する経費	150万円
土木費	町道整備に要する経費	1億5,000万円
教育費	体育館管理運営に要する経費	1,100万円

**補正
予算**

令和元年目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **78万円** 総額 **4億6,888万円**

総務費	介護保険業務に要する経費	78万円
-----	--------------	------

条例改正

- ・ 羅臼町税条例等の一部を改正する条例
- ・ 羅臼町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

計画変更

- ・ 羅臼町過疎地自立促進市町村計画の変更について

整備計画

- ・ 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

工事請負契約の締結

- ・ 羅臼町公民館解体工事〔契約方法〕 指名競争入札〔契約金額〕 金 六千四百九十万円〔契約の相手方〕 尾田建設株式会社〔予定工期〕 契約締結の翌日から令和元年十二月二十五日まで

人事案件

- ・ 羅臼町副町長の選任につき同意を求める



川端 達也氏

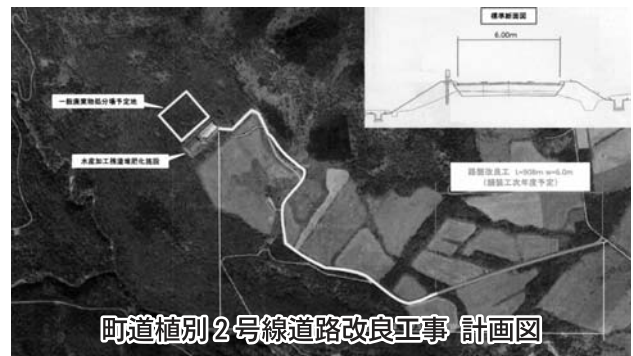
(任期)
令和元年六月二十二日から
令和五年六月二十一日日まで

令和元年 第4回臨時会

5月11日臨時会が開かれ、工事請負契約の締結について審査され、原案通り可決された。

工事請負契約の締結

- ・ 町道植別2号線道路改良工事〔契約方法〕 指名競争入札〔契約金額〕 金 一億四千七百五十一万円〔契約の相手方〕 鈴木・小川経常建設共同企業体〔予定工期〕 契約締結の翌日から令和二年一月二十日まで



行政の考えを問う

4人の議員による12件の質問が提出されました。

令和元年
第2回定例議会

一般質問

議員 坂本
子供医療費、中学校卒業まで無料化で子育て支援を

町長 検討しているが財源問題があり、子育て支援は順序立てて実施する

坂本 志郎 議員



質問

子供、子育て支援を目的とする子供医療費の軽減・無償化を実施している自治体は年々増加しています。

子供の医療費助成を中学生や高校生まで拡大している自治体は、道内一七九市町村の六割にあたる一〇四市町村で実施（平成二十八年度実績）しており、標準町では高校生まで医療費を無料化し、一、五六〇万円を予算として計上しています。釧根管内、十町一村で入

院及び通院を小学生まで無償化しているのは八自治体、中学生までは七自治体、高校生までは五自治体にまで広がっています。

羅臼町は小学生まで入院のみ無料で通院は有料、十町一村の中では最低レベルです。少なくとも中学生までの医療費無料化（年間予算七〇〇万円）を実施すべきです。

湊屋 町長

子育て支援事業は「子供の最善の利益」が実現される社会を目指すことを基本として各施策を展開していきます。

当町の子供医療費負担は〇才から三才は初診時のみ自己負担、三才から就学前までは一割負担、小学生は入院のみ一割負担となって

います。中学生までの医療費無償化は財源問題があり、様々な取り組みを順序立てて実施します。



高額な国保税負担の軽減を

適切な費用を
活用を図る
や向上を
率の軽減
徴収率を
徴収率を
徴収率を

坂本議員

町長

質問

羅臼町の国保税は道内一二三町村の中で、上から五番目と高額になっています。

全町民の半数が国保加入者で高額な保険料を負担しており、国保税軽減対策が求められています。

負担軽減策として、徴収率の改善（全道平均徴収率九十六・九％、羅臼町九十

二・五％）や基金（羅臼町の貯金）の活用、所得に係なく世帯人数に課せられる均等割（一人当たり三八、〇〇〇円）の改善が挙げられますが、人数が多い世帯や低所得世帯ほど重い負担になる仕組みの改善に取り組む必要があります。

湊屋 町長

国保税負担軽減のために歳入である徴収率向上に向けた取り組みを実施します。又、特定健診率の向上や後発医薬品使用率の増加など医療費適正化に向けた取り組みを強化します。更に今年度は関係機関の支援を受け、所得に応じた適切な賦課割合の見直しを行うための検証や適切な基金の活用を図っていきます。

坂本議員その他の質問

- ・保育の無償化に伴う新たな給食費実費負担の軽減
- ・住宅リフォーム制度の対象に店舗リニューアルも入れる事

議員 加藤
**管理が不十分のまま放置されている
空き家の実態と町の対応について**

町長 建物飛散防止のための文書通知や、未対応物件の緊急安全措置の実施

加藤 勉 議員



質問
管理が不十分な空き家の軒数と、所有者に対する指導の状況と、所有者が不明なままの「特定空き家」等の対応についてお伺い致します。

湊屋 町長

全国的に大きな問題となっており、当町でも人口減少に伴い適切に管理されていない空き家等が、住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、平成二

十七年に「羅臼町空き家等対策検討委員会」を設置している。現在把握している

空き家は一七一軒で、このうち近隣に対して問題がある建物が三十軒あり、このうち四軒が所有者不明とな

っている。これら、空き家等からの飛散防止については、現状では個人の財産

であることから、町が対応措置を行うことは出来ませんが、悪天候時に飛散した場合や近隣住民から連絡があ

った時は、早急に所有者へ対応措置するよう連絡し、連絡が取れない場合や未対応の時には、第三者への被害防止のため消防にも協力を

を頂き、緊急安全措置を行っている。

引き続き所有者特定に努めると共に、町として問題解決に向けた対策を検討す

る。

質問

緊急安全措置の内容についてお伺い致します。

建設課長

飛散すべき箇所が見受けられた時点で、屋根、壁等の応急措置を行っている。



議員 加藤
消防庁舎の耐震化について

町長 新耐震基準には該当していない。消防庁舎の耐震化を判断する

質問

巨大地震発生確率が高まっている地域として、防災の要となる消防署、消防団の施設等は重要である。消防庁舎の耐震化についてお伺い致します。

湊屋 町長

昭和五十七年以降の新耐震基準には該当してなく、耐震診断も実施していない。現在の消防庁舎は、建築後既に三十九年を経過し、

質問

手狭な状況でもあるので消防署員によるプロジェクト委員会を組織し、具体的に検討を進めている。現在、大型建設事業も進められており、着工時期については協議のうえ判断していきたい。

庁舎建設には相当な年月がかかると予想されるが、現況の中で改修すべき箇所も有ると思われるがどのよう

湊屋 町長

現状の中で安全対策についてもプロジェクト委員会の中で課題になると考えている。

加藤議員その他の質問

・小学校一校、幼稚園一園化について

田中議員 地域を支える産業の活性化について

町長 各産業分野においてそれぞれ活性化していくことが第一である

田中 良議員



質問

漁業・商工業・観光の振興と大きく三点の振興について、活性化を目指している所であると思うが、次の二点についてお伺いします。
①各振興の取り組みに優先順位やタイムスケジュール等の設定はしているのか。
②各振興を進めて行くための調査、研究等はどのように取り扱っていくのか。



湊屋 町長

漁業の振興では、漁業資源が激減する中で「つくる漁業」「育てる漁業」を支援するとともに、町としても「蓄養計画」を年度末までに策定し、令和二年度から実行できるよう取り組み

でまいります。

商工業の振興では、ふるさと納税が年々増加しており、水産加工を中心に町内事業者の活性化に繋がっている事業でもありますのでふるさと納税や特産品のPRに取り組んでまいります。観光の振興では、国立公園内の景観整備や滞在環境の創出を行うため湯ノ沢町温泉地区の関係機関や団体等による協議会を設立し、事業採択に向けて整備計画を策定してまいります。産業の活性化を目指した取り組みはどれも不可欠なものと考えておりますので、産業振興審議会や産業振興プロジェクトで協議してまいります。

町営住宅について

田中議員

「羅臼町町営住宅等長寿寿命化計画」に基づいて進めている

町長



の進捗状況・今後の計画状況はどのようになっているのか。

湊屋 町長

現在、緑町町営団地の「建て替え事業」及び「改善事業」栄町高台団地の「解体事業」を進めている。今年度は、二棟八戸の実施設計を行い、来年度一棟四戸の改善工事に着手し、一年に一棟の改修工事を計画している。栄町高台団地の「解体事業」につきましては、今年度「二棟九戸」の解体工事を計画しており、次年度以降は入居状況を見ながら順次解体を進めたい。

田中議員その他の質問

・英語教育について

現在、小・中・高では英語力の強化に繋がる取り組みをしているが、幼稚園や〇才〜三才の子どもたちについてはどのように考えているのか。

質問

現在、進めている町営住宅の適正な活用を図るため計画的な建て替えや改善、修繕を進めているが、現在

井上議員

本年度行政の目玉となるハード、ソフトの政策は

町長 基幹産業を中心として、財政の安定化、安心安全な町創りに繋げて決断し行動

井上 章二議員



観光振興や雇用の拡大、医療、保健福祉、介護の充実、教育文化の振興など、安心・安全な町創りに繋げていく。

また、「産業振興審議会」に於いて各種産業や経済について、課題や問題点等、

質問

町長が本年度の執行方針に述べられている「創造から行動へ」のスローガンを掲げ、町創り六項目の基本方針を目標として目指す姿勢が全面に打ち出されていますが、政策についての考えを示して頂きたい。

湊屋 町長

基本的な方向性として、基幹産業の水産業を中心として地域の経済を好循環に変えて財政の安定化を図り、

しっかり議論した内容を提言して頂き、既存の産業に拘わる事無く、町長としての方向性を決断し、決まったものから行動に移し地域の活性化に結び付けていく事を最重点施策として進めてまいります。

また、人口減少は当町にとって非常に大きな課題となっており、特効薬はありませんが、減少率を少しでも抑制させるには、平成二十七年に策定した「人口ビジョン」と「まち、ひと、

仕事創生」「羅臼町総合戦略」の検証、町民による検

討委員会等で意見を頂きながら、具体的に実効性のある第二次総合戦略を策定する。



今後予定している重点事業、最適な教育環境について町民の意見を伺い「幼稚園、学校適正配置計画」を策定し令和四年度に一校一園化の実現、併せて空いた施設を活用して、子育て支援や心豊かな生活、芸術文化活動など、地域の拠点施設として検討します。

他にも町民体育館の耐震改修や内部改修による早期オープン、令和二年度に緑

町営団地の「一棟八戸」建て替え工事の着手を計画しております。

良好か。



井上議員

公有財産の保全、管理は良好か

町長

「羅臼町公共施設等総合管理計画」に基づき活用検討中

質問

公有財産の保全と管理は良好か。

湊屋 町長

平成二十八年十二月に策定した「羅臼町公共施設等総合管理計画」に基づき、人口減少や高齢化、財政情勢に対応して計画期間二十年間という長期的な視点で計画したもので、スキー場のリフト・ロッジ、キャンプ場、廃網処理施設の活用や撤去、除却、望郷の森や国後展望塔等を含めた利活用については、民間企業等の事業誘致や、自然学習や観光のフィールドとして活用検討中です。

井上議員その他の質問

働き方改革と女性職員の育成について

条例制定



平成30年議会風景

本町議会は、議会の公平性、透明性を確保し、町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指し、平成三十年七月に議長から全員協議会に対し議会改革について諮問があり、議会改革特別委員会を設置して、詳細な検討項目についてはプロジェクトチームを結成して、調査研究及び協議を進めてまいりました。

協議した結果をもとに、確実に議員及び議会として、

実行するためにも議会基本条例を制定し、平成三十一年四月から進めていくものです。

平成三十一年度第一回（三月）定例会に羅臼町議会基本条例を提案し、全会一致で可決しました。

議会基本条例の制定にあたっては、先進地浦幌町議会の視察、全道セミナーの参加、住民アンケート調査などを実施しながら、今回制定したものであります。

◆◆◆◆◆ 議会基本条例の特徴 ◆◆◆◆◆

条例の内容には、議会の活性化として取り組むべき内容を定めたもので、条例の特徴として次の内容が挙げられます。

- ① 開かれた議会、町民参加を推進する議会
- ② 町民への情報公開、情報の共有を図る議会
- ③ 町民の声を聴くため、参考人制度、公聴会制度を活用
- ④ 町民や各種団体などとの意見交換の場としての「一般会議」を設置し、政策提案を目指す。
- ⑤ 議員活動を町民が評価できるよう会議等の出席状況を公表
- ⑥ 議会報告会を年一回以上開催
- ⑦ 単に町長等への質問に終始することなく、わかりやすい質問になるよう一般質問に一問一答方式を採用
- ⑧ 論点、争点を明確にするため町長等へ反問権を付与する
- ⑨ 新たな計画や施策、予算や決算においては、より充実した資料を求め、町へ説明責任を課すとともに、議会、議員としても慎重審議に期し決定する
- ⑩ まちの重要な計画の基本構想や基本計画などを議決事件として拡大
- ⑪ 議員間の議論を活性化させるため、自由討議を導入
- ⑫ 議員研修や議会広報の充実
- ⑬ 適正な議会費の確立
- ⑭ 条例の検証と継続的な議会活性化の検討

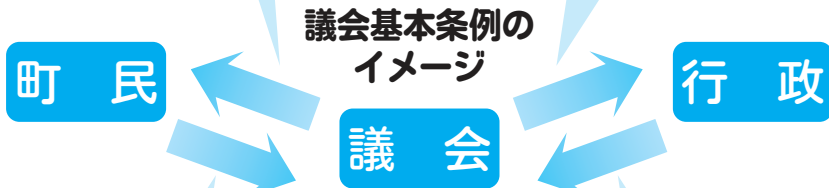
議会基本



開かれた 議会をめざして

- 町民参加、連携の推進（第8条）
- 議会報告会、政策提言（第8条）
- 一般会議の設置（第16条）

- 監視機能、政策立案・提言（第5条）
- 行政との緊張関係（第9条）
- 一問一答方式（第9条）
- 反問権の付与（第9条）
- 議決事件の拡大（第12条）



- 町民意見の聴取（第8条）
- 情報公開と共有、参考人制度、公聴会制度（第8条）
- 一般会議の設置（第16条）

- 議会及び町長との緊張関係（第9条）
- 反問権の確保（第9条）
- 政策等の形成過程の説明（第10条）
- 予算・決算の政策説明資料の作成（第11条）

- 議会・議員の責務（第4条）
- 政策提案に向けての諸活動
自由討議（第13条）、適正な議会費（第17条）、委員活動、議員研修、議会広報、議会図書室の充実（第14条、第23条、第24条）、継続的検討と見直し（第27条、第28条）
- 透明性の確保
政治倫理（第7条）、情報公開と情報の共有（第8条）

議会の動き

5月

7日	全員協議会	
8日	令和元年第2回臨時会	
10日	議会運営委員会	
10日	総務民生・経済文教合同常任委員会	
13日	全員協議会	
13日	令和元年第3回臨時会	
14日	さけ稚魚放流式	
14日	根室町村議会議長会定期総会（羅臼町内）	議長 正副議長
16日	知床羅臼町観光協会通常総会	議長 議長 議長
19日	東京らうす会第23回総会（東京都）	議長 議長 議長
23日	羅臼町連合町内会総会	議長 議長 議長
26日	羅臼消防団春季総合訓練大会	議長 議長 議長
28日	全国町村議会議長・副議長研修会（東京都）	正副議長

6月

3日	根室地方総合開発期成会定期総会（根室市）	議長
3日	地域高規格道路根室中標津道路整備促進期成会総会（根室市）	議長 議長 議長
3日	根室教育振興会総会（根室市）	
3日	根室教育研究所維持委員会（根室市）	
7日	議会運営委員会	
7日	地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会総会（中標津町）	
7日	中標津空港利用促進期成会総会（中標津町）	
10日	経済文教常任委員会	
11日	北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）	議長
13日	総務民生常任委員会	
14日	議会運営委員会	
14日	全員協議会	
15日	第58回知床開き オープニングセレモニー	議長
17日	令和元年第2回定例議会	
24日	議会だより編集特別委員会	
25日	北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）	9名

7月

4日	根室林活議連正副会長会議	林活議連会長
4日	根室林活議連定例総会	3名
6日	陸上自衛隊別海駐屯地記念行事	副議長
9日	宮腰内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）との意見交換会（羅臼町内）	正副議長
11日	議会運営委員会	
11日	経済文教・総務民生合同常任委員会	
11日	令和元年第4回臨時会	
11日	全員協議会	
16日	議会だより編集特別委員会	
22日	第1回議会改革特別委員会プロジェクト会議	
26日	議会だより編集特別委員会	
30日	経済文教常任委員会（町内行政視察）	

北海道町村議会議員研修会（札幌市）

去る六月二十五日、羅臼町議員九名が札幌コンベンションセンターで研修を受けた。

会場には全道の町村議員

約二千名の参加があり、熱気にあふれていた。

講師は二名、「どうなる？

今後の日本政治」を演題として政治評論家 有馬晴海

氏と「地方は変わるのか？

議会はどう変わるのか、自治体をどう変えるか？」を

演題に、中央大学名誉教授 佐々木信夫氏である。

同教授は、「日本は大きな転換期にあり、人口の絶

対減少と少子高齢化の同時進行、極端な大都市偏在と

地方過疎の同時進行、生活

に関わる民需減少、店舗等の撤退など三つの面で危機的状況に入った」と話され、「自治体経営も大きな曲がり角に立っている。今後は身の丈に合うように全てをリセットする必要がある。人口は減るもの、所得も財政も増えないものとして町の設計が必要」と話され、大変参考になった。



編集を終えて

今年から編集メンバーが変わりました。選挙後初めての編集作業ですが、前任者の議会だより同様、多くの町民皆様に愛され、読んで頂けるような紙面づくりをメンバー全員で頑張ります。

